広告

関学・神戸三田キャンパス
文理融合のキャンパス

次代のチカラ

伝統と今を学ぶ。キャンパスから世界は広がる。
未来へ、関学。

2009年、関西学院大学は創立120年を迎える。
時代は大きくうねり、社会は変化を続け、学問の世界は進歩を止めない。
いま大学と学生に求められているのは、高い志であり、果敢なチャレンジ精神だろう。
関学は教育・研究を通じて時代を見据え、社会とともに、未来を拓く。

理工学部
School of Science and Technology

世界で活躍できる
サイエンティストを育てる。

SPring-8を舞台に、研究機関や企業との連携、交流をはかる。

神戸三田キャンパスから車で1時間弱ほどの距離にある世界一の大型放射光施設「SPring-8」（兵庫県佐用町）と本学理工学研究科は、2007年2月に「連携大学院」として協力関係を締結。「SPring-8」に所属する日本原子力研究開発機構、理化学研究所播磨研究所、高輝度光科学研究センターの研究者を客員教員として招いている。一方で、物理学専攻や化学専攻の大学院生は「SPring-8」の施設を利用して実験をしたり、客員教員の指導を受けるなど最先端の創造的な経験に触れながら、刺激的な経験を重ねている。

また今年2月、住友化学株式会社と共同開発した高分子の化学構造と物性の関係を解析する「SPring-8」専用ビームライン産学連合体」を結成。理化学研究所播磨研究所、高輝度光科学研究センターの研究者を客員教員として招いている。一方で、物理学専攻や化学専攻の大学院生は「SPring-8」の施設を利用して実験をしたり、客員教員の指導を受けるなど最先端の創造的な経験に触れながら、刺激的な経験を重ねている。

また今年2月、住友化学株式会社と共同開発した高分子の化学構造と物性の関係を解析する「SPring-8」専用ビームライン産学連合体」を結成。

和歌山県紀の川市桃山町の放射光施設「SPring-8」。写真提供：（財）高輝度光科学研究センター

理工学部が誇る先進の研究成果（1）
世界で認められる半導体・ナノテク技術を開発。

半導体やナノテクノロジーの分野で先端的な研究を行っている理工学部。金子忠昭教授は、同時に三次元の超微細加工法を自己組織化により実現するというもの。簡単・低コストで微細な半導体構造の作製が可能になる。また機能問題や省エネにも役立つ次世代パワーSiC革新的基板技術の研究開発」や「NEDO新エネルギー・産業技術総合開発機構」の省エネプロジェクトに大学単独で選ばれ、大きな貢献を担っている。

金子教授と研究室の学生。研究室のプロセス装置はすべて独自に設計したものである。

理工学部が誇る先進の研究成果（2）
環境に優しい医薬品づくりに欠かせない「プロセス化学」。

医薬品の誕生までには2つの化学が大きく関わっている。まず創薬化学。これいわゆる「生みの親」。そして「育ての親」のがプロセス化学である。化学者の田中陽教授は、創薬をいかに効率的に安定供給できるように生産するかというプロセスを研究。さらに商業的な観点から環境調和型反応の有機合成開発をテーマに取り組んでいる。

「優しくて、自由にやらせてくれる」というのが学生の田辺教授評。明るい雰囲気の研究室だ。

2つの新学科「数理科学科」と「人間システム工学科」に、リニューアルの「生命科学科」を加え先進の6学科体制に。

2009年度より理工学部は数理科学科から数理科学科と人間システム工学科を独立させ、さらに生命科学科は生命医化学専攻を新設してリニューアル。よりたくましく社会に適合した教育を実現する。

NEW【数理科学科】
数学の素養を身につけた、社会で求められる人材を育成。

社会が複雑化するにつれ、複雑な現象を解明する手段として、広く数学が求められている。数理科学科では数学コースと応用数理コースの2コース制を敷き、数学の基礎教育から社会経済現象の分析まで、幅広い教育を行っている。「数学は問題解決の学問」とも言われるように、数学的素養を身につけた人材は、社会のさまざまな分野で活躍できる。

NEW【人間システム工学科】
人間の生活をより快適にするシステムの創出を目指す。

キーワードは「メディアと人」。メディアの表現技術やロボテクス技術、ユビキタス技術などの領域で、人の感性にアプローチし、かつ表現できる様々な情報機器やソフトについて教育、研究する。「人が使いやすく楽しみをもたらすメディアをつくるためには、人の感性を理解・表現する技術が必要。感性工学、ユニバーサルデザイン、認知心理学や人間工学、光工学、音響工学、デザイン科学などの知識を駆使し、多方面から研究していきます。

Renewal【生命科学科】
医学・薬学を取り入れた「生命医化学専攻」を設置。

基礎的な生命科学を研究する「生命科学専攻」に加えて、「病気の予防や治療に対する「生命医化学専攻」を新設する。理学博士であり医学博士でもある今岡進教授を中心に、新たに免疫学や再生医学等の研究者を招聘している。さらに兵庫医大、中国の吉林大学、「不眠症生は糖尿病予備軍」など、食品分野への参画も行う。

生命科学科
今岡 進教授

人間システム工学科
良田 良子教授

数理科学科
小倉 眞一教授

NEW【数理科学科】
計算機環境分野や経済などにも深く関わっている。半導体の生産の解明から社会経済現象の分析まで、まさしく「会う会う応用される学問」になるでしょう」と話す。

NEW【人間システム工学科】
人間システム工学科は、感性情報学プログラムやファッションといった独自分野を専門にする長田典子教授が指導した大学院生の論文が世界的権威の国際会議ニシグラフで3位を受賞した。関学は感性情報処理分野でも日本有数の研究機関と認められている。

理工学部

- 数理科学科
- 人間システム工学科
- 生命科学科 Renewal
- 物理科学科 New
- 情報科学科
- 化学科

理工学部

- 数理科学科
- 人間システム工学科 New
- 生命科学科 Renewal
- 物理科学科 New
- 情報科学科
- 化学科

理工学部長
尾崎 幸洋教授

人生において悩み考えていきます。

私立大学の良さである「建学の精神」を大事にしています。まずスクールモットーである「Mastery for Service（奉仕のための練達）」に基づいた社会に貢献できる教育・研究の実践。また、キリスト教主義に基づいた人間教育や「自然科学を学ぶ者として重要な環境問題や生命における倫理についても理解・知識を深めていきます。さらに理系のためにデザインした教育システムによる英語教育や国際性豊かな人間の育成。

最後に、来年度から数理科学科と人間システム工学科を新設し、生命科学科をリニューアルします。時代が複雑化し、新しい学問分野を取り込み理工学部の幅を広げ、深みのある学びを実現したい。社会に役立ちたいと考えている、きっとワクワクドキドキするサイエンスに出合えますよ。

総合政策学部
School of Policy Studies

Think Globally. Act Locallyの精神で、
自ら考え、行動する学生たち。

一番に選ばれる大学・人材育成を目指す。

関西学院大学には他校にない素晴らしい財産が3つあります。1つは「Mastery for Service」という理念であり、「国際性」という伝統です。2つ目は、明るく、自由で、のびのびとした校風。3つ目は、スパニッシュスタイルのキャンパスです。こんなキャンパスは世界でも少ないと思います。これらの財産を最大限に生かして、理事長として実現したいことがあります。まず関学を「一番に選ばれる大学にすることです。いくつかの大学の中から関学を「一番に選んだ学生が、今度は社会から「一番に選ばれて就職していく。「一番に選ばれる人材」を育成し、世界の最先端の教育を目指したいと思います。

森下 洋一 理事長
関西学院大学商学部教授、総学部長等を経て、現パナソニック（株）入社後、同社代表取締役社長・代表取締役会長を経任。現相談役。本年度より関西学院理事長。

学生諸君には、まず「Mast ery for Service」の趣旨である「あなたは何のために社会の役に立つのか」という部分を徹底して考えていただきたい。次に学問と併せて大学生に是非ともやってほしいことがあります。それはコミュニケーション力やチームカ、クラブ活動などでコミュニケーション力やチームカを養ってほしい。企業経営者に携わった者として感じるのが、社会に求められる異質な人材、個人の能力の総和以上の力を発揮できるパワーです。また、大きな志をもっていただきたいと思います。志があれば挑戦できる。チャレンジすることで使命感がわき、そうすると自然とリーダーシップが生まれる。人望も集まれる人になるのです。

学生諸君が社会の役に立てる能力を身につけるよう、責任をもって育成いたします。

文理融合の教育・研究環境を目指す。

神戸三田キャンパスには理系の理工学部と文系の総合政策学部があり、文理融合の教育・研究環境の構成を目指しています。様々な現象の背景には、一方に自然科学の仕組みがあり、他方に人間の行為があります。理系は文系の考え方を取り入れれば、より多面的で客観的なアプローチができ、物事を解決する能力が幅広く身につくのではないでしょうか。目の前にある現象を客観的に、どのような方策を立てるか、将来像を描くか。今日のように時代が動いている時にこそ必要な姿勢だと思います。来春開設の理工学部数理科学科、応用数理コースでは、数学の応用能力とコンピュータ能力を生かし、理系分野はもとより文系分野も含めて幅広い分野で能力を発揮できる人材を育てます。

もう一つ、キリスト教精神に基づいた世界市民としての社会貢献意識や国際性の涵養も、英語教育など関学の伝統は今も大切に継承されています。知識だけでなく、倫理的な規範や人間としての深みを持った人材を育てたい。

杉原 左右一 学長
関西学院大学商学部教授、理学部学長等を、大学院商学研究科博士課程単位取得。商学博士。専門は統計学。商学部長、大学国管館長などを歴任。本年度より学長。

総合政策学部
School of Policy Studies

海外に飛び出す。環境破壊の現場を見る。アクティブな学びをサポートしてくれる関学。

総合政策学科4年生　吉川 恭平さん

僕はエコロジー政策を専攻していますが、商学や情報通信にも興味があります。だから、専門性がありつつ幅広く学べる総合政策学部はうってつけです。海外との交流が盛んなことも魅力で、設立校のアプティッシュ・コロンビア大学に交換留学生として1年間留学しました。学会や国際会議に参加する機会も多く、海外の友人ができたことも、ネパールのNGO代表と知り合って、中古パソコンを海外に送る事業を企画したこともあります。

昨年7月から半年かけてユーラシアとアフリカの20ヶ国ほどを旅したんです。貧困被爆の現状や、世界の歴史的な爆弾を訪れたいという気持ちでした。環境破壊の知識はそれなりにあるつもりだったのに、実際に目にすると言い表現ができず、とくに印象的だったのは、ウズベキスタンのアラル海。20年前まで漁業で栄わっていたのに、過剰な農業用水の吸い上げで世界第4位の巨大な湖が半十分の、住民の生活も破壊されてしまった一方、石油資源を国営にし続ける政府が集まってくる、人々は水源もないほど困窮して絶望的というのです。

そんな現状を肌で感じることが、今の私にとっての財産だと思います。この体験を分かち合い、少しでも環境保全に貢献できる行動を起こそうと思い、今年8月、大阪市西区にNPO法人「こどもエコハウス」を開設しました。ドングリ・ポスト・ペットボトルキャップなどのリサイクル活動を通じて幼児・小学生を中心に環境教育を行っています。

東京で開かれたNPO法人代表連絡特別会議から

地域フィールドワーク型環境の授業の様子。「自然部屋」の飛田八穴の選定について話し合っている。

上：廃油でつくられたキャンパルに乗られたロハスバックス。資源リサイクル処理業はホームページ。http://www.lohasbackers.com/ceteber/
右：ウズベキスタンの干上がったアラル海。観光名跡が無惨な姿を呈す「自然の墓場」。

経済や社会、メディアなど学科の垣根を超えた学びで、実践的な都市政策を立案。

総合政策学科3年生　石原 凌河さん

僕は都市政策を学んでいますが、経済学、社会学、工学、英語など学問の多様を組んでいるという点が魅力でした。都市政策を学ぶ上で、様々な分野の知識が必要になるため、いずれは学部の垣根がなくなればうリニューアルしてほしいです。

僕は「都市デザイン・ワークショップ」を履修しています。「音楽の街づくり」をテーマに、学生が実際に音楽イベントを企画・運営するというもので、都市政策学科の先生にも協力をお願いしました。イベントと正反対にあるような防災を研究することで、街を多角的な視点から見られると考えています。それに、都市政策は立案するだけでなく、社会に積極的にコミュニケーションをとって実現の運びとなるという点も、メディアにも興味がある僕にとって魅力的でした。

イベントの企画・運営は、学生の視点から、ターゲットの設定、広報の仕方、予算の組み方など様々な方法を学んでいます。学生によって取り組み方は様々で、役割を追求する人がいる一方、私は人に関わりたくて広報担当を選びました。映像制作は興味があり企画・構成、撮影・取材、ナレーションなど、ほぼ一人でやることが出来ますが、一方、取材して真剣な思いを聞いたからには、発信するところまで、ということが難しいです。

イベントと正反対にあるような防災を研究することで、街を多角的な視点から見られると考えています。それに、都市政策は立案するだけでなく、社会に積極的にコミュニケーションをとって実現の運びとなるという点も、メディアにも興味がある僕にとって魅力的でした。

毎年11月に開催される総合政策学部の恒例イベント。様々な問題意識を持つ学生たちが、互いに日頃の研究成果を発表して刺激を与え合い、議論を通じてさらなる発展をはかります。高校生や一般の方にもオープンな催しです。

詳細はホームページをご覧ください。
http://www.r-fair.info

知の祭典「リサーチ・フェア」11月7日・8日開催

国際協力団体「エコハビタット関西学院」の活動を通じ、自分の可能性の広がりを実感。

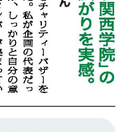
総合政策学科2年生　山下 友梨子さん

高校時代にマレーシアとフィリピンへボランティア活動に行った時、多くの開発が「リーダーとして私もなんなっこくな立場な人間になりたい」と思い、進学を決めました。元々は外交官志望でしたが、総合政策学部は国際教育も充実しています。講義自体が英語だったり、英語でプレゼンテーションを授業が多いので、英語に磨がかないという理由もありました。

入学直後にエコハビタット関西学院の代表と知り合い、高校時代に経験したフィリピンの貧困層の実態を話をするチャリティーバザーを開きました。私が全面の窓だったんですが、しっかりと自分の意見をいったバンバーが集まっていることに感動しました。「自分の意見を言える」ことが大切だと思いました。

フィリピンのごみ処分場で商品を売って生活する女性や子どもを支援するためのチャリティーバザーを実施した。

活躍する先輩


総合政策学部長
加藤 晃規教授

環境破壊や国際紛争、情報格差や都市問題などは、特定の国や地域だけではなく、地球規模の問題です。総合政策学部では、地球上のおこる諸問題を究明し、「自然と人間の共生ならび「人間と人間の共生」を目指し、それを実現できる人材を育成していきます。来年で学部創設15年を迎えるにあたり、都市政策学科と国際政策学科を新設し、4学科体制に生まれ変わります。

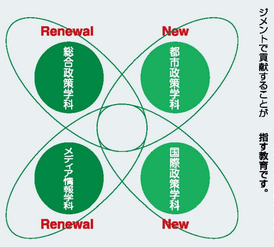
都市政策学科では、文理融合的なカリキュラムで都市デザインと都市運営の施策を学び、安全・快適で持続可能な都市・地域空間を提案し、創造し、運営できる人材を養成します。地域社会や国際社会を問わずリサーチ・アナリシス・マネジメントで貢献することが期待されます。

国際政策学科では、国連が掲げる「国際社会における平和構築」「国際発展」「国際人権レジーム」の拡大・強化を担える、グローバルな視点から学びます。国際機関や国内行政機関などでリーダーシップを発揮する人材を養成します。

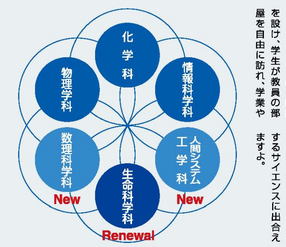
また、国際の2学科を再編し、さらに専門性を高めます。総合政策学科は、環境政策分野、公共政策分野、言語文化政策分野に特化します。メディア情報学科は、人に優しい情報社会や情報通信技術を探求し、実践的なメディア活用能力を養成します。

4つの学科はそれぞれ独立した存在ではなく、互いに強い連関性を持っています。学科を超えて自由に科目を履修できるカリキュラムを編成し、各学科の専門性を高めながら、同時に総合的な視点を育成できる人材を養成します。学科の枠を超えた総合的な学びの実現、これが総合政策学部の目指す教育です。

2つの新学科が誕生。より幅広く専門的に学べる学部へ進化する。



サイエンスは、ほんとうにおもしろい！



関西学院大学
KWANSEI GAKUIN UNIVERSITY

関学　検索
http://www.kwansei.ac.jp/
兵庫県西宮市上ケ原一番町1-155

〈西宮上ケ原キャンパス〉
●神学部　●文学部（文化歴史学科／総合心理科学科／文学言語学科）　●社会学部（社会学科）
●法学部（法律学科／政治学科）　●経済学部　●商学部
●人間福祉学部（社会福祉学科／社会起業学科／人間科学科）

〈神戸三田キャンパス〉
●総合政策学部（総合政策学科／メディア情報学科）
●理工学部（数理学科／化学科／生命科学科／情報科学科）

2009年新学部開設
教育学部（設置認可申請中）
●幼児・初等教育学科
●臨床教育学科

2009年新学科開設
総合政策学部
●都市政策学科
●国際政策学科
理工学部
●数理科学科
●人間システム工学科

■一般入学試験（F方式・A方式・関学独自方式）
出願期間　郵送出願：2009年1月5日（月）～1月16日（金）（締切日消印有効）
持参出願：2009年1月19日（月）（午前10時～午後3時まで）
※関学独自方式（関学英語併用型・関学数学併用型）については郵送出願のみ。
※入試に関する詳細は必ず入試要項でご確認ください。

■大学入試センター試験を利用する入学試験（個別学力検査は実施しません）
1月出願／出願期間　郵送出願：2009年1月5日（月）～1月16日（金）（締切日消印有効）
インターネット出願：2009年1月5日（月）～1月16日（金）
※入試に関する詳細は必ず入試要項でご確認ください。